









行動規範

MOMENTIVE®

Japanese_MPM-8765 Code of Conduct_US Letter.indd 1 7/12/2026 12:22:54 AM

目次

CEOからのメッセージ **1**

従業員価値提案 **2**

私たちの基本理念 **2**

環境衛生と安全（EHS）への取り組み **3**

私たちがお互いに果たす約束 **4**

相互尊重 4
薬物乱用 5
人権の尊重 5

市場に対して私たちが果たす約束 **6**

コンプライアンスの遵守 6
独占禁止法 6
マネー・ローンダリング防止 7
不適切な支払い 7
不適切な支払い 8
国際貿易 8
ボイコットの禁止 8

誠実さと高い倫理観に対して私たちが果たす約束 **9**

贈答品および接待 9
利益相反 9
財務上の誠実性 10
インサイダー取引 11
知的財産および社外秘情報 12
プライバシーの保護 14
会社資産の保護と適切な使用 14
ITの許容可能な利用およびサイバーセキュリティ 15

支援を受ける方法と懸念事項の報告 **16**

オンブズマンへの連絡 16
Momentive倫理ホットラインに連絡する理由 16
プロセスの仕組み 16
報復防止ポリシー 17
ポリシー関連資料 18

CRAIG BORKOWSKIからのメッセージ



誠実さとコンプライアンス：私たちの成功を支える基盤

Momentiveでは、*「誠実さ*は当社のコアバリューの一つです。これは、良き企業市民としての責任を果たし、長期的な事業の成功を実現するために不可欠です。誠実さを行動の指針とすることで、私たちが下すすべての意思決定と行動は、会社とすべてのステークホルダーの持続的な成功につながります。

誠実で信頼される存在であることは、この約束の礎です。私たち一人ひとりが誠実に行動し、たとえ誰も見ていない場面であっても自らの約束を着実に果たし続けることで、時を経ても揺るがない信頼の文化を築くことができます。

行動で実現するグローバルプログラム

当社のグローバルな *Integrity Program* は、この重要なコア・バリューを実践し続けるための指針と支援を提供しています。法務チームが管理のもと、進捗状況を把握するとともに、追加の対応が必要となるタイミングを判断するために、明確なパフォーマンス指標を活用しています。私たちは...

- **包括的なインテグリティに関するポリシー**万が一困難な状況に直面した場合に備えたもの。例：贈収賄防止、独占禁止法の遵守、データプライバシー);
- **インテグリティに関するトピックについての定期的**な研修およびコミュニケーション;
- **複数の機密性が確保された通報窓口**（電話およびインターネットで利用可能な第三者運営のホットラインを含む）
- **オンブズパーソンを含む世界中のボランティアネットワーク**が、私たちのインテグリティ文化を日々実践し、その浸透を支えています。

声を上げることは大切です

Momentiveでは、懸念事項があれば報告し、疑問があれば質問し、直面している課題があれば共有することを、私たちは互いに奨励しています。あらゆるアイデアは、私たちがお互いをより良く支え合うための機会であり、あらゆる懸念は最大限の慎重さをもって取り扱われます。Momentiveは、報復行為を一切許さない姿勢を堅持しています。誠意を持って提起された懸念は、適切な担当者によって公正かつ客観的に検討されます。声を上げる人を守り、誰もが安心して声を上げられる環境を築くことは、私たちの企業文化を維持するうえで不可欠です。

行動規範を実践する

Momentiveの{i}*行動規範*およびそれを支えるインテグリティポリシーは、Momentiveで働く私たち一人ひとりが日々どのように行動すべきかを明確に定めています。私たちは全員、これらの基準を守る責任を負っています。また、必要に応じて、法務チームが実践的な助言とサポートを提供します。

私たちの事業が成長を続ける中で、世界中のより多くの人々と関わる機会が増えています。私たちは誠実さを何よりも大切にし、正直さと大胆さを持って行動します。私たちは共に、***解決策の一翼を担っています。***

あらゆる場面で誠実さを大切にしていただき、ありがとうございます。



クレイグ ボルコフスキー

社長兼最高経営責任者

従業員への提供価値

Momentiveでは、**私たちの社員**一人ひとりが、あらゆる革新と成功を支える原動力であると信じています。私たちは、好奇心が育まれ、アイデアが尊重され、協力によって前進できる環境を築きます。あらゆる役割が重要であり、一人ひとりが、私たちの会社、業界、そして地域社会の未来を切り拓くための大切な役割を担っています。



私たちは思いやりを大切にします。

従業員、その家族、そして地球の**ウェルビーイング**と**安全**を大切にしています。

私たちは投資します

当社の拠点および従業員の能力開発に投資し、従業員一人ひとりのキャリア目標を支援・促進します。

私たちは敬意を持って接します

社員一人ひとりが、**多様性を尊重した、誰もが受け入れられる**、そして**つながりを感じられるチーム**.づくりを推進します。

私たちは信頼します

従業員が **適切なこと** を **適切なタイミングで** 実行できるようにします。

私たちは誇りを持っています

革新的なソリューション と **高品質な製品** を通じて、人々の日常生活に**価値をもたらしています。**

私たちの基本理念

Momentiveを、人材が成長し、存在意義が育まれる場所として定義します。



安全性と持続可能性



顧客中心主義



私たちの社員



イノベーション



誠実さ

環境・健康・安全に対して私たちが果たす約束

私たちは、社会的責任を果たし、事業の価値を高めるために、世界各地で展開する事業活動全体を通じて、環境・健康・安全（EHS）の卓越性を追求することを約束します。私たちは、事故や負傷のない職場の実現を目指すとともに、環境への影響を最小限に抑えるため、持続可能な方法で取り組むことを約束します。

Momentiveは、安全で安心して働ける職場環境を提供することを約束します。私たちは、安全はすべての人の責任であると考えています。すべての従業員は、事故、負傷、および安全ではない状態を発見した場合は、直ちに報告することが求められます。私たちは、安全は「人」がすべてであり、すべての労働災害は防ぐことができると考えています。社員一人ひとりが協力し合い、日々お互いの安全を守っています。



Momentiveは、責任ある企業市民として、環境および事業を展開する地域社会に対して行動する責任を理解しています。私たちは、天然資源の保全に努めるとともに、実行可能な範囲で危険物質の使用を削減することにより、危険物質の安全な取り扱いを確保します。Momentiveは、環境関連の法令や規制を遵守し、それらを上回る水準を目指しています。また、新たな買収、製品、および事業活動に伴うEHS（環境・安全衛生）リスクを考慮しています。これは、国連グローバル・コンパクトへの署名企業としての取り組みと、毎年実施されるEcoVadis評価を通じて示されています。

私たちは、American Chemistry Councilの会員として、Responsible Care®の理念を実践することを約束します私たちは、関連する化学物質規制を遵守するとともに、当社の製品を取り扱う方々が安全に取り扱い・管理できるよう必要な情報を提供することで、責任ある製品管理を実践しています。

safety matters because you matter

STOP BEFORE THE TASK
THINK ABOUT THE RISKS
ACT WITH YOUR SAFETY IN MIND

UN GLOBAL COMPACT
WE SUPPORT

ecovadis

RESPONSIBLE CARE®
OUR COMMITMENT TO SUSTAINABILITY

私たちがお互いに果たす約束



相互尊重

Momentiveは、互いを尊重し合い、親しみやすい職場環境づくりを大切にしています。 私たちは、自らに対してより高い職業倫理基準を求めるとともに、お互いを尊厳と敬意をもって接します。私たちは、従業員一人ひとりを大切にし、それぞれの異なる背景、文化、経験、そして多様な意見を尊重します。私たちは、多様性が当社の競争力を高め、グローバル市場においてより強固な企業となるための原動力であると信じています。

当社は、機会均等およびアファーマティブ・アクションを推進する雇用主です。 私たちは、性別、マイノリティとしての立場、性的指向、性自認、保護対象となる退役軍人としての地位、障がいのある適格な個人としての地位、または法令で保護されるその他のいかなる特性に基づいても、雇用に関する意思決定を行うことはありません。私たちは、今日の労働力の多様性を反映した候補者を積極的に検討するよう努めています。私たちは、採用および昇進に関する決定を、資格および実績に基づいて行います。

私たちは、すべての従業員が、ハラスメント、いじめ、または威圧的な言動のない職場環境を当然の権利として期待できると考えています。 ハラスメントとは、威圧的、敵対的、または不快な職場環境を生み出す、望まれないあらゆる言動を指します。これには、望まない性的な誘い、性的な要求、または他の従業員に対して行われる、性的な性質を持つ言葉、文書、感情的な表現、もしくは身体的な行為から成るセクシュアルハラスメントやその他の行為が含まれます。Momentiveは、当社の従業員に対するいかなる種類のハラスメントも容認しません。従業員は、自身が不快に感じる行為や、「相互尊重ポリシー」に反していると思われる行為を見聞きした場合は、ためらうことなく声を上げ、報告することが奨励されています。

Momentiveは、誠意をもって懸念事項を報告した人に対する報復や不利益な取扱いを一切容認しません。



薬物乱用

Momentiveは、すべての従業員、そのご家族、およびお客様の健康、安全、そして福祉の向上に取り組んでいます。 私たちは、従業員と事業を展開する地域社会の安全を確保するため、薬物のない職場環境を維持します。勤務時間内外を問わず、当社のいずれの職場においても、薬物またはアルコールの使用、所持、販売、または配布は固く禁止されています。

薬物またはアルコールの依存に関する問題を抱えている従業員には、各地域の人事担当者に連絡し、自発的に支援を求めることを強く推奨します。米国の従業員支援プログラム（Employee Assistance Program：EAP）など、各地域で利用可能な支援プログラムがあります。

人権の尊重

基本的人権は、Momentiveの事業活動における中核的な価値観です。 Momentiveは、児童労働、奴隷労働、人身取引を含む、あらゆる形態の強制労働または非自発的労働を禁止しています。さらに、Momentiveを代表して業務を行う第三者についても、適用される（労働）法令の遵守および人権の尊重に関するMomentiveの方針を遵守することが求められます。



市場に対して私たちが果たす約束



コンプライアンスの遵守

Momentiveは、自社の事業に適用されるすべての法律、規則、および規制を遵守 しています。

会社およびその事業には、国、州、県・省、ならびに地方自治体のさまざまな法令が適用され、その一部には違反した場合に刑事罰が科されるものがあります。Momentiveは、すべての違反について、必要に応じて調査、対応、および報告を行います。

自身の業務に適用される法律、規則、および規制を理解しなければなりません。法令または規制に違反している可能性があることに気付いた場合は、法務部門または法的助言を求めてください。

グローバルな視点で考えます。法的要件は、地域の文化やこれまでの慣行と一致しない場合があります。会社が競争上不利な立場に置かれる場合であっても、法令のコンプライアンスは引き続き求められます。

独占禁止法

Momentiveは、自由で公正な競争市場の維持に取り組んでおり、不当または反競争的な商慣行を行うことも、そのような行為を容認することもありません。 Momentiveの従業員は、Momentiveが事業を展開するすべての国において、適用されるすべての独占禁止法および競争法を遵守することが求められます。すべての従業員は、Momentiveの独占禁止法および競争法ポリシーを遵守することが求められます。独占禁止法違反は、会社の評判に重大な損害をもたらす可能性があるほか、会社およびその従業員に対して刑事罰や民事上の罰金・制裁が科される可能性があります。

詳細については、「競争法および競争ポリシー」をご参照ください。このポリシーには、「慎重なコミュニケーション」および「競合他社との接触」に関するガイダンスが含まれています。



競合他社と接する際：

- 競合他社と価格の固定、入札談合、市場の割り当てについて合意しないでください。
- 競合他社との接触は、正当な業務目的に限定してください。***判断に迷う場合は、法務部に相談してください。***
- 地域や顧客に関する制限、販売代理店契約の終了、抱き合わせ販売または排他的取引契約、買収、または合弁事業を検討する際は、法務部門にご相談ください。

マネー・ローンダリング防止



マネー・ローンダリングとは、違法に得た資金の出所を隠そうとする行為です。犯罪行為に関与した者は、その犯罪によって得た収益を隠したり、正当な収益であるかのように見せかけたりするために、「マネーロンダリング」を行おうとする場合があります。現在、世界のほとんどの国では、マネー・ローンダリングを禁止する法律が制定されています。これらの法律により、犯罪行為による収益の受領または処理は違法となります。Momentiveは、世界各国で適用されるすべてのマネー・ローンダリング防止法令を遵守することを約束します。Momentiveは、信頼できる顧客であり、その資金が正当な資金源に由来することが確認できる相手とのみ取引を行います。Momentiveの「顧客確認（Know Your Customer）」手続きでは、当社が違法に取得された資金を受け入れることがないよう、合理的な措置を講じることが定められています。当社にリスクをもたらす顧客との関係や取引を適切に把握できない場合、Momentiveの誠実性と評判は著しく損なわれる可能性があります。



不審な活動があった場合は、速やかにMomentiveの 法務部 globalcompliance@momentive.com まで報告してください。

不適切な支払い

いかなる状況においても、優位な立場を得ることを目的として金銭またはその他の価値あるものを提供することは、Momentiveでは決して認められず、固く禁止されています。従業員は、商品やサービスの販売、金融取引の実施、政府当局に対する会社の利益の代表、その他いかなる目的であっても、不当な利益を得るために金品その他の利益を提供してはなりません。Momentiveおよびその従業員は、他国における現地の慣行と一致しない場合や、Momentiveが競争上不利な立場に置かれる場合であっても、米国海外腐敗行為防止法（Foreign Corrupt Practices Act）、英国贈収賄防止法（UK Bribery Act）、ならびに国際的な事業慣行を規律するその他の米国および各国の法令の文言と趣旨の双方を遵守しなければなりません。

不当な利益を得る、または維持することを目的として、顧客の従業員または政府関係者に対し、金銭、物品、サービスなど価値のあるものを提供したり、提供を約束したり、支払ったり、その提供を承認したりしてはなりません。また、不当な利益を得たり維持したりする意図がない場合であっても、不適切であるとの印象を与えるおそれがある場合、または「賄賂」、「見返り」もしくは「取引」と受け取られる可能性がある場合には、そのような申し出を行ってはなりません。政府が承認した制度に基づき、迅速なサービスを受けるために政府機関（個人ではなく）へ直接支払いを行うことは、状況によっては、裁量を伴わない業務や事務的な手続きにおいて適切な場合があります。

詳細については、レッドフラグを含むMomentiveの贈収賄防止方針をご参照ください。

贈賄にはさまざまな 形態があり、以下のようなものが含まれます。

- 現金
- リベートの授受
- 贈答品
- 接待・贈答
- 出張・旅行
- 政治献金または慈善活動への寄付
- 採用または職務配置

不適切な支払い



Momentiveは、地方自治体、州政府、省政府、および国の政府（政府所有企業を含む）と取引を行う場合があります多くの国では、政府機関または政府職員とのやり取りに関して、特定の法律が定められています。例えば、米国および世界の多くの国では、政府関係者に対して故意に虚偽または誤解を招く発言を行うことは違法です。政府機関および政府関係者から、私たちの誠実さに信頼を寄せていただくことが極めて重要です。こうした理由から、Momentiveの従業員は、政府機関またはその代表者と接する際には、最高水準の倫理基準を遵守するとともに、すべての法令の文言だけでなく、その趣旨も遵守しなければなりません。

従業員は、政府機関に提出する報告書、証明書、許認可申請書、表明、申述、提案書、および申請内容を含むすべての連絡事項について、真実かつ完全で、正確であり、誤解を招く内容でないことを徹底しなければなりません。

政府関係者または政府機関との業務上の協議を行う前に、当該機関の規則および適用されるその他の法令・規制を十分に確認し、理解してください。

贈答品、寄付、接待などの価値のあるものを政府関係者、政府機関、政府省庁、またはその代表者に提供する前に、法務部に相談してください。

Momentiveは、以下の目的で金銭その他の利益を提供することを含め、あらゆる贈収賄行為を禁止しています。

- 政府関係者に不適切な行為を促す
- 調達プロセスを不正に操作または回避する
- 安全衛生規則を回避する
- 輸出入に関する規則の遵守

国際貿易

国際貿易管理法は、国境を越えた商品、サービス、および技術の輸出入を規制しています。米国法は、米国内における米国籍以外の者への技術情報の提供についても規制しています。当社が事業を展開している多くの国では、国際連合または欧州連合（EU）が定めた貿易制裁が実施されています。貿易制裁により、特定の国や個人との間で行われる商品またはサービスの輸出入が禁止または制限されています。

Momentiveは米国に拠点を置く企業であるため、現地の法律や他国の慣行と整合しない場合や、それらよりも厳しい要件を課している場合であっても、適用される米国の輸出入関連法令を遵守します。国際業務に従事する従業員は、米国の輸出入関連法令および適用される現地の法令を認識し、理解しておく必要があります。

Momentiveは、お客様およびサプライヤーを慎重に審査し、特定の制裁対象国、サプライヤー、ならびに政府が作成した監視リストに掲載されている関係者との取引を制限するものを含む、適用されるすべての輸出入関連法令を遵守していることを確保しています。

特定の企業または世界の特定の地域との取引についてご不明な点がある場合は、Global Trade Compliance Teamまでお問い合わせください。

ボイコットの禁止

米国に拠点を置く企業として、また米国法に基づき、いかなる従業員も認可されていない外国によるボイコットに参加またはこれを支援してはなりません。違法なボイコットに関連する可能性のある行為への参加を求められた場合、またはそのような情報の提供を求められた場合は、直ちにGlobal Trade Complianceに連絡してください。受け取った要請はすべて米国政府に報告しなければなりません。報告を怠ることは、米国法違反となります。

誠実さと高い倫理観に対して私たちが果たす約束



贈答品および接待

贈答品および接待は、当社のビジネス関係を構築し、強化するうえで重要な役割を果たすことがあります。贈答品および接待は、不適切な利益を得るため、または事業上の意思決定に不当に影響を与えるための手段として使用してはなりません。従業員は、贈答品や接待を提供または受領する際には、適切な判断力と常識をもって行動しなければなりません。贈答品や接待を求めてはいけません。贈答品や接待は、妥当な範囲内で、正当な事業活動の通常の過程において提供されるものでなければなりません。

会社の評判を損ねたり、信用を失墜させたりするおそれのある贈答品や接待を提供してはなりません。違法行為、薬物、売春またはアダルトエンターテインメントに関わる贈答品または接待は認められません。現金または現金同等物も禁止されています。

Momentiveの従業員は、Momentiveの贈収賄防止ポリシーを遵守しなければなりません。政府関係者への贈答品（価額を問わず）については、事前の承認を得るため、法務部に連絡してください。

贈答品および接待の受領または提供に関する追加のガイダンスや詳細については、Momentiveの「贈答品および接待に関するポリシー」をご参照ください。欧州またはアジア太平洋地域の国に所在する、またはこれらの国で事業活動を行う従業員向けに、地域別の補足規定が設けられています。付属文書では、各地域の法的要件および慣習に基づく制限事項を定めています。

利益相反

利益相反とは、あなたが個人的な利益または社外での利益を有しており、それが（またはそのように見える形で）Momentiveの利益および業務上の責任を果たす能力と相反するあらゆる状況を指します。利益相反は、個人の私的な利益が、会社全体の利益と何らかの形で対立したり、あるいは対立しているように見えたりする場合に生じます。従業員、役員または取締役が、会社での業務を客観的かつ効果的に遂行することを困難にするおそれのある行動を取ったり、利害関係を有したりする場合、利益相反の状況が生じる可能性があります。利益相反は、従業員、役員または取締役、あるいはその家族が、会社における自身の立場を利用して不適切な個人的利益を得る場合にも生じます。

利益相反につながる可能性のある一般的な例としては、副業、個人的な投資、家族または個人的な関係などが挙げられます。

利益相反の可能性に関するその他の例については、Momentiveの利益相反ポリシーをご参照ください。



贈答品および接待

- 敬意またはもてなしのしるしとして贈られる高額ではない贈答品
- 食品の詰め合わせ、花、またはワイン
- 妥当な食事
- イベントチケット
- 正当な業務活動に関連する出張および宿泊の手配

禁止される贈答品および接待の例：

- 現金または現金同等物（ギフトカードを含む）
- 不適切な利益、不正な影響力、賄賂またはリベートを目的とするあらゆるもの
- 受領者が勤務先の雇用主から受け取ることを許可されていないもの
- 違法行為、薬物、売春、または性的な性質を有する成人向け娯楽 （例： ストリップクラブ）

利益相反があるように見えたり、そのような印象を与えたりすることは、実際の利益相反と同様に重大な問題となる可能性があります。利益相反の可能性または実際の利益相反は、当社の信頼性や評判に悪影響を及ぼし、不信感や誤解を招くおそれがあります。

透明性は極めて重要です。利益相反の可能性を特定し、それを速やかに開示することで、会社は不適切な事態を回避するために必要な措置を講じることができます。利益相反のおそれがあると思われる場合、または利益相反に該当する可能性のある状況に気付いた場合は、法務部、上司、人事担当者、または globalcompliance@momentive.com までご連絡ください。

企業機会に対して私たちが果たす約束従業員、役員および取締役は、**(a)** 会社の財産、情報または地位を利用して得た機会を個人的に利用すること、**(b)** 会社の財産、情報または地位を私的な利益のために利用すること、ならびに **(c)** 会社と競合する行為を行うことを禁止されています。従業員、役員および取締役は、その機会が生じた場合には、会社の正当な利益を促進するために行動する義務を負っています。

公正な取引。すべての従業員、役員および取締役は、会社の顧客、取引先、競合他社、および従業員に対して、公正かつ誠実に対応するよう努めなければなりません誰も、市場操作、事実の隠蔽、重要な内部情報の不正利用、重要な事実の虚偽表示、またはその他の不公正な取引慣行を通じて、不当に利益を得てはなりません。





利益相反の可能性がある事例には、以下が含まれます。

- 親しい友人 または家族の採用判断に関与すること
- 直属の部下と恋愛関係を持つこと
- 会社と競合する行為
- 社外での顧客または取引先との兼業
- Momentiveと競合する事業において、事業上の持分 を保有したり、そのような事業を支援したりすること
- 顧客または取引先から個人的な貸付を求めること、または受けること
- 会社のリソース、勤務時間、または施設を 私的な利益のために使用すること

財務上の誠実性

Momentiveは、財務報告、会計業務、およびその他の公開情報の開示において、最高水準の誠実性を維持します。 これには、米国証券取引委員会（SEC）への提出書類やプレスリリースなどが含まれます。正確な財務報告および適切な情報開示を徹底しなければ、会社の価値を損ない、会社および関与した従業員に重大な罰則が科される可能性があります。

私たちの従業員は、Momentiveの会計方針および財務報告方針を理解し、これらを遵守します。Momentiveは、正確な帳簿および記録を維持するとともに、会社の資産に対する経営陣の管理および責任を十分に果たせるよう、適切な内部統制システムを維持することを約束します。当社の財務諸表ならびにすべての帳簿および記録は、会社の方針および一般に公正妥当と認められる会計原則に従い、当社のすべての取引を正確に反映しています。

当社は、事業を展開する各国の法令に従い、正確かつ完全で、関連性があり、適時性を備え、理解しやすい情報を用いて、当社の公開開示資料を作成します。SECに提出する報告書その他の文書、およびその他の公的な情報開示には、完全かつ公正で正確な情報を記載するものとし、各従業員はその実現に努めます。

私たちの従業員は、社内監査担当者および独立監査人と、オープンかつ誠実にコミュニケーションを取ります。従業員は、重要な事実を偽って伝えたり、他者によって自らの独立した判断が損なわれたりすることなく、誠実かつ適切な注意をもって行動します。

不適切と思われる会計または監査に関する問題について懸念がある場合は、従業員は監査委員会のいずれかの委員、監査責任者（General Auditor）、オンブズパーソン、または Momentive Ethics Line（米国・カナダ：(844) 238-8766）へ報告することが推奨されています。現地法で禁止されていない限り、匿名で報告することも可能です。その他の国については、連絡先情報を確認するため、Ethics Line のウェブサイトをご覧ください。

インサイダー取引

インサイダー取引に関する証券関連法は、公正かつ健全な株式市場を確保することを目的としています。証券関連法令に違反する行為は、個人だけでなく当社に対しても民事上および刑事上の責任を生じさせる可能性があり、当社の価値観にも反するものです。

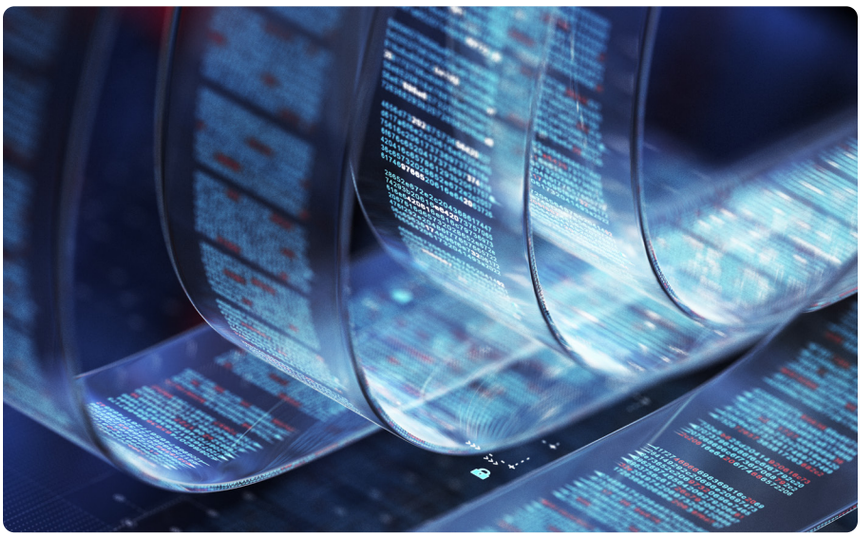
雇用期間中、Momentiveまたは当社が取引を行う他社に関する情報で、開示すべきでない情報を知ることがあります。機密性の高い業務情報は、特に公開市場で取引されている有価証券を発行している法人に関する情報である場合には、会社の正当な業務遂行上「知る必要がある」従業員にのみ開示されるよう制限しなければなりません。あなたおよびあなたの近親者は、当社またはその他の法人に関する重要な未公表情報を保有している場合、当該会社の有価証券を売買してはなりません。



重要な未公表情報を他者に伝達し、その情報に基づいて当該他者が取引を行ったり、他者に取引を助言したりすることも、違法行為となります。私たちは、自分自身または他者の個人的な利益のために情報を不正に利用しないよう、常に細心の注意を払わなければなりません。

民事上の制裁には、不正に得た利益または回避した損失の最大3倍に相当する罰金が含まれ、違法取引を行った者およびその情報提供者の双方に科される可能性があります。

刑事罰には、個人の場合は最高500万米ドル（会社の場合は2,500万米ドル）の罰金、および最長20年の禁錮刑が科される可能性があります。当該の違法取引を行った者の雇用主および監督者も、「支配者（Controlling Persons）」として法的責任を問われる場合があり、最高で100万ドル、または不正に得た利益もしくは回避した損失額の3倍に相当する罰金が科される可能性があります。





重要な非公開情報には、次のようなものが含まれることに留意してください。

- 会社の収益予測
- 資産の評価減、引当金の増額、または利益の修正再表示などの重要な会計上の措置
- 重大な訴訟 の提起
- 重要な買収または資産の売却について交渉が進められているという事実
- 会社の売上高 または利益に重大な影響を及ぼす可能性のある顧客またはサプライヤーとの合意に達すること
- 主要な経営幹部の採用または解任

知的財産および社外秘情

当社の知的財産は、市場における当社の成功にとって極めて重要です。知的財産には、特許、商標、著作権に加え、営業秘密、ノウハウ、事業計画、製品価格、工場運営に関するガイドライン、ならびに顧客、サプライヤー、取引に関するその他の機密情報など、会社の機密情報およびその他の専有情報が含まれます。機密情報には、一般に公開されていないすべての情報が含まれます。これらの情報が開示された場合、競合他社にとって有益となる可能性があるほか、会社、お客様、サプライヤー、または会社が取引を行うその他の関係者に損害を及ぼすおそれがあります。雇用期間中、会社に帰属する機密情報、または第三者から会社に託された機密情報を知ることがあります。私たちには、自社の機密情報および第三者から託された機密情報を保護する責任があります。これにより、製品イノベーションを通じて当社の事業の継続的な成長を実現するとともに、株主価値の向上につなげます。



社外秘情報を不適切に開示すると、会社に深刻な財務上、戦略上、または競争上の問題を引き起こす可能性があります。Momentiveの知的財産または社外秘情報を、自身の個人的な利益のために使用してはなりません。

社外秘情報を取り扱う際は、必ず次の点を守ってください。

- 社外秘情報は、会社の業務上知る必要がある従業員にのみ開示してください。
- **公共の場所で**機密性の高い業務情報について話さないでください。
- 秘密保持契約を締結することなく、退職した従業員を含む第三者に社外秘情報を提供しないでください。
- **決して**会社の社外秘情報および／または専有情報を自分のために持ち出さないでください。
- オフィス外（ホテル、飛行機、会議など）で作業する際は、ノートパソコンにプライバシーフィルターを使用し、情報を保護してください。
- 組織外からの不審な電話やメールには注意し、氏名や電話番号、市場調査に関する情報、または顧客情報を求められても安易に提供しないでください。
- **不審な**組織外から送信されたメールに含まれるリンクをクリックしないでください。
- **機密情報の保存に、**フラッシュドライブやUSBメモリを使用しないでください。
- 情報を「社外秘」として指定するためにラベルを使用します。



- **個人のコンピューターやモバイル端末に、**社外秘情報を保存しないでください。
- 電子情報を保護するために、パスワード、暗号化、およびアクセス制限を使用します。
- 機密情報を含む紙媒体の記録は、施錠されたオフィスや引き出しに保管し、機密情報を机の上や人目につく場所に放置しないでください。
- **ノートパソコン、スマートフォン、その他のモバイル端末を**施錠されていない場所に放置しないでください。
- **会社のメールを**会社以外のアカウントに転送しないでください。
- 機密性の高い事業取引（合併、買収、事業売却など）については、コードネームを使用してください。
- **パスワードは絶対に**共有しないでください。

プライバシーの保護



Momentiveは、個人データの保護に取り組んでいます。 個人データとは、単独で、または他のデータと組み合わせることで、個人を特定できるあらゆるデータを指します。情報化社会では、消費者情報や金融情報などの個人データがますます大量に生成されており、これらのデータは、不正または違法な使用や開示から保護されなければなりません。Momentiveは、従業員、お客様、およびサプライヤーから収集した、またはそれらの方々に関して保有する個人データを保護します。私たちはそれぞれ、自らが保有する個人情報を不適切または無許可で使用または開示されることのないよう、適切に保護しなければなりません。

Momentiveは、適用されるすべてのプライバシー関連法令、規制、および条約を遵守します。 当社は、個人データへのアクセスを雇用および業務上必要な場合に限定することにより、個人データを適切に利用するとともに、その機密性を維持するために必要な適切な措置を講じます。当社は、プライバシーポリシーおよび適用されるすべての法令を遵守して行動します。

不正使用または違法な情報開示に気付いた場合は、速やかに直属の上司、人事責任者、プライバシーチーム、法務部門、オンブズパーソン、または globalcompliance@momentive.comまでご連絡ください。



会社資産の保護と適切な使用

すべての従業員、役員および取締役は、会社の資産を保護し、その資産が効率的に利用されるよう努めなければなりません。窃盗、不注意、および浪費は、会社の収益性に直接影響を及ぼします。記載されている会社資産はすべて、正当な業務目的のために使用しなければなりません。

ITの許容可能な利用およびサイバーセキュリティ



私たちは、従業員が職務上の責任を果たし、会社の目標達成に貢献できるよう、必要なITシステムおよび機器を提供することを約束します。システムおよび機器は、Momentiveの業務目的のために提供されています。会社の勤務時間および／またはリソースを不適切に使用せず、かつMomentiveのIT適正利用ポリシーに違反しない範囲であれば、限定的な私的利用が認められます。

わいせつ、人種差別的、性差別的、脅迫的、その他不快または嫌がらせに該当する内容、あるいは他者に敵対的な職場環境を生じさせるおそれのあるコンテンツをダウンロード、表示、保存、または配布することは禁止されています。

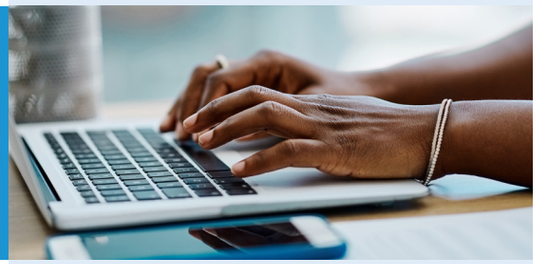
私物や個人的な情報のうち、私的なものと考えるものは、職場や会社の情報システム内に保管しないようにしてください。Momentiveは、適用される現地の法令または職場での合意に従い、これらのエリアおよびデバイスにアクセスする権利を留保します。

Momentiveのシステムは、不正アクセス、盗難、不正使用、および不正利用から保護しなければなりません。外部から受信したメールを取り扱う際には、常に注意を払う必要があります。悪意のある可能性がある添付ファイルを開いたり、Webサイトを閲覧したりすると、企業システムが侵害されるおそれがあります。会社はサイバー防御に多層的な対策を講じていますが、サイバー脅威から組織を守るうえで、皆さん一人ひとりが最も重要な防御線です。気づいていないかもしれませんが、あなたには最後の砦として行動する権限が与えられています。

不審な点に気付いた場合は、ITチームへ報告することがあなたの責任です。



相談窓口と懸念事項の報告



従業員は、コンプライアンス上の懸念事項を速やかに報告することが求められます。上司、人事担当者、法務部、オンブズパーソン、globalcompliance@momentive.com、またはMomentive Ethics Line（現地の制限が適用される場合があります）をご利用ください。

オンブズパーソンへの連絡

国または地域のオンブズパーソンおよびグローバル・オンブズパーソンは、コンプライアンスに関する懸念事項の報告や、コンプライアンスに関するご質問・ご相談のためにご利用いただけます。

適切な連絡先情報は、Momentive Ombuds Networkで確認できます。オンブズパーソンへのすべての通報は調査され、必要に応じて是正措置が講じられます。

Momentive倫理ホットラインに連絡する理由

懸念があるものの、直接声を上げることに抵抗がある場合や、匿名で報告したい場合は、Momentive Ethics Lineまでご連絡ください。Momentive倫理ホットラインは独立した外部プロバイダーによって運営されており、発信者番号通知は使用されません。モメンティブ倫理ホットラインは、24時間365日、多言語で利用できる窓口として、すべての従業員に提供されています。研修を受けた専門スタッフが、必要に応じて適格な通訳者の支援を受けながら、お住まいの地域で使用されている言語で報告をお受けします。 ホットラインへのすべての通報について調査を行い、必要に応じて適切な是正措置を講じます。米国およびカナダからは +1 844 238 8766 にお電話ください。その他の国からは、連絡先情報については Ethics Lineウェブサイト をご覧ください。

プロセスの仕組み

1. まず、何が起きたのかを教えてください。ご相談内容に関して、一連の質問にご回答いただきます。電話をご利用の場合は、通訳者が通話に参加するまでに数分かかることがあります。そのままお待ちいただき、電話を切らずにお待ちください。
2. 次に、この懸念事項に関してご連絡するための連絡先をお知らせください。氏名を提供したくない場合は、匿名で報告することもできます。
3. 懸念事項を提出すると、レポート番号、個人識別番号（PIN）、およびホットラインまたはウェブサイトを利用して報告内容を確認・追跡するための手順が提供されます。
4. すべての報告について調査を行い、必要に応じて是正措置を講じます。

報復行為禁止方針



*Momentiveでは、誠実性と透明性において最高水準を堅持しています。*CEOからのメッセージに沿って、私たちは、信頼と説明責任の文化を維持するためには、声を上げることが不可欠であるという考えを改めて確認します。

*当社は、誠意をもって懸念を申し出た個人に対するいかなる形の報復や不利益な取扱いも容認しません。*一人ひとりの声が大切です。問題を報告する皆さんの勇気が、私たちの従業員、お客様、そして私たちの価値観を守ることにつながります。

現地の法律で禁止されている場合を除き、懸念事項は **匿名で** 報告することができます。実名で報告する場合でも匿名で報告する場合でも、報告内容は適切かつ丁寧に取り扱われますので、安心してご報告いただけます。

私たちの約束は明確です。**何か気になることを見かけたら、恐れずに声を上げましょう。**私たちは共に、誠実さが根付く職場づくりに取り組みます。

報告すべき懸念事項の例：



機密情報の不正な使用または開示



独占禁止法および公正な取引



職場での行動



利益相反



貿易コンプライアンス上の問題

- スパイ行為または妨害行為
- 出張および経費記録の改ざん
- 財務記録の改ざん
- 業務記録の廃棄
- 不適切な贈答品、賄賂、およびリベート
- 情報の虚偽表示
- インサイダー情報に基づく取引
- Momentiveのポリシーまたは法的事項に関する懸念
- 誠実さに関する質問や相談
- 職場の安全
- 環境法令の遵守
- 内部通報に関する懸念

関連方針

- 贈収賄防止方針
- 独占禁止法および競争法方針
- 利益相反に関する方針
- 権限委任に関する方針
- 贈答品および接待に関する方針
- 人権および相互尊重に関する方針
- 報復行為禁止報復禁止方針針
- ITの適正利用ポリシーおよびプライバシーポリシー
- 記録保持方針および保存期間一覧

ご注意：会社が発行し、本行動規範で規定されるいずれかの事項を対象とするその他のポリシーは、自動的に本行動規範の一部を構成するものとします。

Momentiveの従業員は、すべての法務ポリシーを会社のイントラネットで確認できます：https://momentive.sharepoint.com/sites/MomentiveIntranet/SitePages/Policies.aspx

権利放棄に関する方針。本行動規範の執行役員または取締役に対する適用除外は、取締役会または取締役会の適切な委員会によってのみ承認されるものとします。





MOMENTIVE®

© 2026 MOMENTIVE PERFORMANCE MATERIALS INC. 無断複製・転載を禁じます。MOMENTIVEは、MOMENTIVE PERFORMANCE MATERIALS INC.の商標です。